

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)

【公開番号】特開 2013-118453 (P2013-118453A)
 【公開日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-030
 【出願番号】特願 2011-264119 (P2011-264119)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 1/40 D

B 4 1 J 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 23 日 (2014.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

相対的な濃度が高い比較濃色材と、前記相対的な濃度が低い比較淡色材を有する画像形成装置の色分解テーブルを作成する色処理装置であって、

前記比較濃色材の使用を制限する色域境界を設定する設定手段と、

複数の前記比較濃色材の一つを選択し、基本の色分解テーブルから、前記選択した比較濃色材の色材値が非零、かつ、格子点に設定された色材値によって再現される色値が前記色域境界よりも明るい領域にある条件を満たす少なくとも一つの格子点を判定する判定手段と、

前記条件を満たす格子点に設定された、前記選択された比較濃色材の色材値を前記比較淡色材の色材値で置き換える置換手段とを有することを特徴とする色処理装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、複数の入始点によって構成される平面を前記色域境界として設定し、前記入始点は、前記比較濃色材の使用を開始する点であり、前記基本の色分解テーブルの頂点格子点の間を結ぶ線分上に設定されることを特徴とする請求項 1 に記載された色処理装置。

【請求項 3】

前記置換手段は、前記比較濃色材の色材値を、前記比較濃色材と同色相の前記比較淡色材の色材値で置き換えることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載された色処理装置。

【請求項 4】

前記置換手段は、前記比較濃色材の色材値を複数の前記比較淡色材の色材値で置き換えることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載された色処理装置。

【請求項 5】

前記比較濃色材は、淡シアン色材に対するシアン色材、および、淡マゼンタ色材に対するマゼンタ色材であることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れか一項に記載された色

処理装置。

【請求項 6】

前記比較濃色材は、シアン色材、マゼンタ色材およびイエロー色材に対するブラック色材であることを特徴とする請求項1から請求項4の何れか一項に記載された色処理装置。

【請求項 7】

相対的な濃度が高い比較濃色材と、前記相対的な濃度が低い比較淡色材を有する画像形成装置の色分解テーブルを作成する色処理方法であって、

前記比較濃色材の使用を制限する色域境界を設定し、

複数の前記比較濃色材の一つを選択し、基本の色分解テーブルから、前記選択された比較濃色材の色材値が非零、かつ、格子点に設定された色材値によって再現される色値が前記色域境界よりも明るい領域にある条件を満たす少なくとも一つの格子点を判定し、

前記条件を満たす格子点に設定された、前記選択された比較濃色材の色材値を前記比較淡色材の色材値で置き換えることを特徴とする色処理方法。

【請求項 8】

コンピュータを請求項1から請求項6の何れか一項に記載された色処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、粒状性を向上し、ざらつき感を抑制することが可能な色分解テーブルを作成することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明にかかる色処理は、相対的な濃度が高い比較濃色材と、前記相対的な濃度が低い比較淡色材を有する画像形成装置の色分解テーブルを作成する際に、前記比較濃色材の使用を制限する色域境界を設定し、複数の前記比較濃色材の一つを選択し、基本の色分解テーブルから、前記選択された比較濃色材の色材値が非零、かつ、格子点に設定された色材値によって再現される色値が前記色域境界よりも明るい領域にある条件を満たす少なくとも一つの格子点を判定し、前記条件を満たす格子点に設定された、前記選択された比較濃色材の色材値を前記比較淡色材の色材値で置き換える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、粒状性を向上し、ざらつき感を抑制することが可能な色分解テーブルを作成することができる。